

# 東高 国際だより

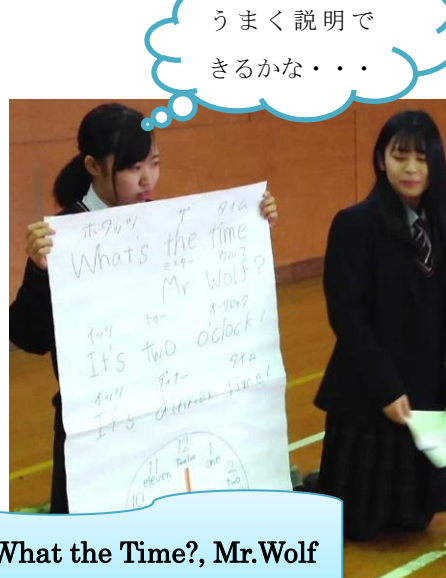
令和2年2月13日  
京都府立東舞鶴高等学校  
国際教育部発行  
2019 vol. 10

## 3年国際文化コース 志楽小学校英語レクチャー体験(12月5日)

国際文化コース3年生が、志楽小学校の4年生80名を対象に、英語の特別授業を行いました。授業は2種類。一つは、ものの形と色を表す英単語を指導した後、ビンゴゲームを行う授業、もう一つは、数字と時刻の聞き方・答え方を学習した後、「だるまさんがころんだ」の英語版“*What the Time?, Mr. Wolf*”で、体を動かしながら英語を楽しむものでした。今回は、昨年度に引き続き2回目の体験だったので、少しは心に余裕があったようです。



形を教えているところです。



What the Time?, Mr. Wolf

うまく説明で  
きるかな・・・

### ビンゴゲーム



## 日本ユネスコ協会連盟「世界寺子屋運動・出前授業」(1月24日)

日本ユネスコ協会連盟のアフガニスタン事務所長のヤマ・フェロジ氏をお招きし、アフガニスタンの現状や世界寺子屋運動についてお話を伺いました。従来より東高生徒会を中心に取り組んでいる「ネパールの子ども達へ文房具を贈る活動」が、発展途上国の人々にどのように役立てられているのを知るよい機会となりました。



### 生徒感想

僕は「勉強したくない」「面倒くさい」とずっと思っていた。しかし今回の講演で、アフガニスタンの人達の中には勉強したいと思っても出来ない人がいるのに、なんと贅沢なことを言っているのだと思った。今やっていることが当たり前だと思わずに感謝して生活していきたい。

1年3組 岸野 壮真(青葉中出身)

## 遊里道大智君 受賞 (白糸中出身)

3年5組の遊里道大智君が「舞鶴市優秀文化賞」の特別賞を受賞しました。遊里道君は、オーストラリア科学奨学生として、シドニー大学のプログラムに参加しました。この賞は文化や芸術等の分野で優れた結果を収めた人に贈られる賞です。

*Congratulations!*

速報

## 夏に留学をした東高生の紹介



2年藤山歩帆さん(青葉中出身)に2週間のオーストラリアでの語学留学についてインタビューしました!

なぜ留学をしようと思いましたか?

外国で日本とは違う文化や生活を体験することで、自分の視野を広げたいと思ったからです。夏休みを利用して、思い切って留学しました。

現地の高校での様子を教えてください。

日本は、各クラスにHR教室があり、担任の先生がいますが、オーストラリアでは、全く異なるシステムでした。HR教室はなく、授業になれば指定された教室に行き、教科担当の先生の指示や授業を受けます。また、2時間授業した後に、「リセスタイム」があり、おやつを食べる時間がありました。

今回の留学で学んだことはありますか?

リセスタイムや各々がパソコンを使う授業など、日本とは異なる文化を体験することができました。また、ホストファミリーにビーチやショッピングモールに連れて行ってもらって、一緒に多くの時間を過ごしました。今回の留学で、自分の考えをはっきりと言うことの大切さを学びました。待つばかりでは、今回のような体験は出来なかったと思います。



Thank you, so much!



朝食はツナやチーズなどを挟んだサンドイッチをいただきました。

## 日本のええトコ教えて

このコーナーでは、日本の素晴らしい文化や観光地などを、東高の先生がリレー形式でお届けします!  
第10回 赤松 智仁 先生 (国語科)

日本のええトコとして埼玉県の魅力を紹介いたします。1つ目はうどんについてです。「うどん」と言えば香川県の「讃岐うどん」を思い浮かべる人は多いでしょう。実は、埼玉県にも「武蔵野うどん」「加須うどん」などあり、B級グルメとして地元で愛されています。うどんは肉汁につけて食べます。コシが非常に強く讃岐のうどんにも負けないくらいです。

2つ目は国語教員という立場から埼玉を紹介いたします。京都に比べるとかないませんが、案外多くの古典に「埼玉(武蔵)」が登場します。よく知られているのが、教科書でもおなじみの『伊勢物語』。「みよし野の たのむの雁もひたぶるに 君が方にぞ よると鳴くなる」「みよし野」は歌枕になっていて、今の埼玉県川越市あたりと言われています。延々と田畑が広がっているだけですが、それでも何かロマンのようなものを感じますね。「埼玉には他にも有名な場所があるじゃん!」と怒られそうですが、地元郷土の視点から紹介してみました。舞鶴にも多くは知られていない「小さなええトコ」はありませんか。ぜひ近所の「ええトコ」探しをしてみませんか。

写真  
・「武蔵野うどん」wikipediaより  
・「堀金の井」狭山市民大学より



「とはずがたり」という作品に登場する「堀金の井」という大きな井戸です。狭山茶で有名な狭山市にあります。深さは1.9mとかなり浅いです。(通常は20~30m程度)

「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

